

## 群馬大学の重粒子線医学研修センターで最先端医療を視察して

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

2. 寒い朝が毎日続きますが、皆さんお元気でお過ごしでしょうか。今の時期は、定期試験、つまり2学期の期末試験を行う学校が多いです。ただし、これは3学期制の学校の場合で、1年を2つに分けた2学期制の学校では行われません。

そこで、この時期に定期試験のある皆さんに対策のコツを少しアドバイスさせていただきます。大事なものは、スミからスミまで覚え込むことです。まず、学校で使用している教科書・問題集・教材や授業中のノートなどを、先生の授業を思い出しながらかじりと読み込みます。また、ノートを整理したり、わからない言葉を辞書で調べたりします。このようにして、教科書などにどのようなことが書かれているのかを「理解」します。そのあとに、音読練習、書き取り練習、計算・問題練習で「練習、練習、また練習」をします。このようにすると、定期試験で100点を取ることができます。

人生は捨てたものではありません。こと定期試験に関しては、努力は必ず報われます。短い時間ではなかなか報われませんが、時間を長めに取ってハードな学習をすると必ず報われます。定期試験でよい点数を取ると、学校の成績順位がどんどん上がります。すると、自信がついて勉強が好きになり、人生における選択肢が多様になります。ですから、がんばって準備をし、よい点数を取っていただきたいと思います。

3. さて、今週の月曜日に群馬県・埼玉県・新潟県の経済同友会が合同で開催した行事がありました。私は栃木県の経済同友会に入っていますが、群馬県の経済同友会にも入らせていただいていますので、群馬県・埼玉県・新潟県の皆さんとともに見学に行ってきました。どこに行ったかといいますと、午前中はユネスコの世界遺産に登録された富岡製糸場です。午後は群馬大学の重粒子線医学研究センターに行き、最先端の癌の治療方法を勉強しました。

癌の治療方法はたくさんありますが、その1つに重粒子線を使ったものがあります。これは患部を切らずに、重粒子という放射線を癌の病巣に集中的に照射することにより3週間から1か月間ぐらいの短期間で治す方法です。具体的には、重粒子という炭素イオンを光の約70%のスピードに加速して照射し、体の深い部分にある癌に強いダメージを与えて治療します。メスを使わないため、痛みを伴うことはありません。これを行っているところは日本国内に4か所あります。千葉県・兵庫県・佐賀県・群馬県に1か所ずつです。

4. この驚くような治療方法が役立つのは、前立腺癌・胃癌・肝(臓)癌、直腸癌・子宮頸癌や手術後の骨盤内再発の防止などです。ただ、血液の癌は動きますので、なじまないそうです。

問題なのは治療費です。施設をつくるのに何百億円もかかり、また、この治療には保険の適用がないため、受ける場合には325万円ぐらい、つまり300万円以上必要です。これに加えて、入院の諸費用もかかります。ただし、こちらには保険が適用されますので大丈夫です。

5. この最先端医療には、癌センターの癌専門のお医者さん・工学系の方・器械をつくっている会社つまり産業界の方と大学、行政が一所懸命に取り組んでいます。特に、群馬県は特区を申請しています。そして、ますます増える癌に対して体の負担の少ない治療法を開発しています。来年には神奈川県癌センターでもこの治療ができるようです。

私の希望は、できれば栃木県にも重粒子線を使った治療施設が1箇所か2箇所でき、費用はかかっても皆さんが癌の医療に立ち向かえるようになればいいなということです。もっともっと増えれば、保険が適用され、補助も受けられるかもしれませんが、今のところはそのような状況ではないとのこと。治療をするのであれば、できるだけ体に負担が少ない方がよいですから、栃木県にも茨城県にもこのような施設ができ、そこでの治療が実現できればと思います。

6. 今週の月曜日に群馬大学の重粒子線を使った治療施設を視察いたしましたので、放送をお聴きの皆さんに紹介させていただきました。癌治療に関してはこれから技術がどんどん進みます。お金がかなりかかるのが問題ですが、ぜひ関心を持っていただければと思います。